

平成30年5月三木市教育委員会（定例会）会議録

1 開催日程

- (1) 開 会 平成30年5月16日（水）午後3時00分
(2) 閉 会 平成30年5月16日（水）午後4時35分

2 場 所 三木市役所 5階 大会議室

3 議事日程

- 第1 会議録署名委員の指名について
第2 会議録の承認について
第3 会議の非公開の決定について
第4 報告事項 青少年補導委員の委嘱について（青少年センター）
第5 報告事項 被頭彰者の決定について（生涯学習課）
第6 報告事項 高齢者大学（大学院）運営委員会委員の委嘱について
（生涯学習課）
第7 報告事項 各課の所管事項について
第8 次回定例会の開催日程について
第9 その他

4 出席者

教 育 長	西 本 則 彦
委 員	井 口 徹
委 員	石 井 ひろ美
委 員	浦 崎 秀 一
委 員	大 北 由 美

5 欠席者 なし

6 事務局出席者

教 育 総 務 部 長	石 田 英 之
教 育 振 興 部 長	奥 村 浩 哉
教 育 振 興 部 次 長	岩 崎 恵
教 育 総 務 課 長	五 百 蔵 一 也

教育施設課長	長池陽作
文化・スポーツ課長	森本雅彦
学校教育課長	生田淳仁
教育センター所長	大東豊
教育・保育課長	正心均
生涯学習課長	近藤豊
図書館長	伊藤真紀
教育総務課係長	能出真一
教育総務課主任	橋本祥子

7 傍聴者 なし

開 会

教育長が、平成30年5月三木市教育委員会定例会の開会を宣言した。

日程第1 会議録署名委員の指名について

教育長が、三木市教育委員会会議規則第28条の規定により、本日の会議の会議録署名委員に、浦崎委員と大北委員を指名した。

日程第2 会議録の承認について

教育長が、平成30年4月臨時会（6日開催）の会議録について委員に諮ったところ、全員一致で承認された。また、教育長が、平成30年4月定例会（18日開催）の会議録について委員に諮ったところ、井口委員から一部発言について追記を求める発言があった。教育長が、このことについて委員に諮り、全員一致で承認された。

日程第3 会議の非公開の決定について

教育長が、議事の進行について委員に諮り、公開で審議することを決定した。

日程第4 報告事項 青少年補導委員の委嘱について（青少年センター）

○大東教育センター所長が次のように説明した。

三木市青少年センター運営に関する規則の規定に基づき、自治会から推薦いただいた2名を5月1日付けで青少年補導委員に委嘱した。

(西本教育長) 任期は2年だが、長く就かれていますか。

(大東教育センター所長) 前回定例会で報告した人数と合わせて152名中、70名が再任である。

(石井委員) 青少年補導委員の担い手が少ないことを耳にしたことがある。推薦により就かれていますか、高齢者も多いと思われる。次回から何期目か分かる資料があれば、参考になるのではないかと感じる。

(大東教育センター所長) 次回の報告に向けて検討する。

日程第5 報告事項 被顕彰者の決定について(生涯学習課)

○近藤生涯学習課長が次のように説明した。

三木市連合PTAの会長、副会長として平成29年度に務めていただいた3名の方に対して、感謝状を贈呈する。

(井口委員) 三木市教育委員会顕彰基準では、在職5年以上の方に感謝状を贈呈するケースが多いが、連合PTAの会長、副会長の場合は1年となっている。それだけ職責が重いということか。

(西本教育長) 連合PTAは、各小学校及び中学校のPTA(単P)の会長や副会長から組織され、市全体のPTA活動を考えていく組織である。三木市教育委員会顕彰基準には、どのように規定されているか。

(近藤生涯学習課長) 社会教育関係団体(連合会)の長等として、連合PTA会長・副会長は1年以上、連合PTA理事は2年以上と規定されている。

(井口委員) 連合PTAの会長、副会長として複数年就かれることはないのか。

(西本教育長) 連合PTAは、中学校区ごとに会長、副会長の役を持ち回りしている。連合PTA理事として複数年就かれる場合はあるが、会長、副会長は1年となる。

(井口委員) 連合PTAの会長には、単Pの会長を歴任された方がなるのか。

(西本教育長) 単Pの会長であることが資格であり、経験年数は関係ない。

(大北委員) 初めて単Pの会長になられた場合でも、連合PTAの役員になる事はある。役は持ち回りであるため、事前に承知の上、就任いただいている。

(井口委員) 感謝状を贈呈することはいいことであるが、その職に就くと1年で感謝状が当たることに違和感がある。

(奥村教育振興部長) 学校運営は、PTA活動に非常に支えられており、単Pの会長や役員を務めていただけるだけでも、学校としてはありがたいことである。さらに連合PTAの会長、副会長に就かれると、県や北播磨等、広域の会議に足を運ばれる機会も多く、様々な部分でご苦労いただいている。市教委として、児童生徒への大きな貢献という点では、単年度ではあるが、表彰をさせていただくべきものとする。

(石井委員) 保護者にとって連合PTAの会長、副会長に就くことは、とても負担がかかることである。児童生徒のために活動され、単年度で感謝状を贈呈されることは、その方にとっても意味があることと感じる。

(西本教育長) 連合PTAの代表として、広域の会議や市の審議会等に出席いただいております。単Pも十分に重職ではあるが、それを上回る重職という見解である。その点を評価し、教育委員会顕彰基準で規定しているので、ご理解いただきたい。

日程第6 報告事項 高齢者大学（大学院）運営委員会委員の委嘱について（生涯学習課）

○近藤生涯学習課長が次のように説明した。

三木市高齢者大学設置要綱の規定に基づき、各団体の役員交代、人事異動等による委員交代のため、4名を高齢者大学（大学院）運営委員会委員に委嘱した。任期は平成30年5月1日から平成31年4月30日までである。

日程第7 各課の所管事項について

(1) 教育施設課報告事項

○長池教育施設課長が次のように報告した。

小学校・認定こども園の施設整備工事等の進捗状況（5月10日現在）について、別所小学校プール水槽防水シート改修工事は、新しい防水シートの張り替えがほぼ完了し、今後ライン引きの工程に入っていく。別所認定こども園園舎増築はリース物件となる。建て方工事はほぼ完了し、内装・設備工事に取り掛かっている。リース期間は、平成30年6月から平成35年5月までの5年間となり、リース終了後は、三木市への無償譲渡となる。

上の丸保育所耐震化の進捗状況（5月10日現在）について、実施設計を進めており、今週中に設計書が完成する。今後の工程として、文化庁から平成30年4月20日付けで許可されたため、実施設計が完成次第、入札等の手続きを経て工事に着手する。工事の完成は、平成30年10月末の予定である。

（大北委員）別所認定こども園園舎増築について、できる部屋の概要、用途について説明願う。

（正心教育・保育課長）平成29年度は定員100名のところ、130名以上受入れをしていた。法的には面積基準を満たしており、問題はないが、保育の質としてはかなり窮屈な状態であったことと、子育て支援室を保育室に代えて運用していたため、この度増設に至った。3部屋の増築となり、2部屋を3歳児の受入れ、1部屋を子育て支援室とする。他に手洗いや廊下に庇を付けるなど、園と教育施設課に調整いただき、工事を進めている。

(大北委員) プレハブが建つということか。

(長池教育施設課長) 仮設用のプレハブではなく、長期的な使用に耐える仕様のプレハブとなっている。リース期間中は、賃貸物件となり、終了後は、三木市の物件として使い続けることができる。

(西本教育長) 今後5年ほどは児童数の増加が予測されるが、その後は数が読めず、別所認定こども園の入園者数がどうなるか不透明な部分もあり、プレハブとした。無償譲渡後は、子どもの状況によって、そのまま使用し続けるか、別のところに移し、別用途として使用するかを検討する必要がある。

(大北委員) プレハブと元々の園舎との保育の差や不便がないようにして欲しい。

(西本教育長) 6月以降に増設部分の使用開始となれば、新たに受入れ可能な人数は出てくるのか。

(正心教育・保育課長) 増設となった分受入れ人数は確保できるが、他園の状況も勘案しながらの入所調整となる。

(石井委員) リース料には、建物管理の保険関係等全て含まれているのか。

(長池教育施設課長) そのとおりである。リース終了後は、市で新たに入り直すこととなる。

(大北委員) 受入れ人数の増加に伴い、保育教諭や調理師の人員確保にも十分配慮し、子どもたちが健やかに育つ環境を保っていただきたい。

(西本教育長) 現在の人員配置はどうなっているか。

(岩崎教育振興部次長) 現在は定員100名のところ、117名が入所

されている。育休復帰による入所調整で、今後何名入所されるかは決まっているが、増設により新たに増加することはない。増設されることで、子育て支援室ができる分余裕を持って保育を行うことができる。人員配置については、適切に行っている。

(2) 文化・スポーツ課報告事項

○森本文化・スポーツ課長が次のように報告した。

スナッグゴルフペア大会を4月28日にホースランドパークで開催し、参加者は12組24名であった。ふれあいスポーツデーを5月3日にホースランドパークで開催し、参加者は延べ329名であった。本年度は、三木市人権・同和教育協議会50周年記念のイベントとして協賛いただいた。また、ジュニア陸上を5月11日に三木山総合公園陸上競技場で開催し、参加者は58名であった。みき歴史資料館では、企画展特別講演会「御坂神社祭礼今昔」を5月13日に開催し、参加者は35名であった。堀光美術館では、第20回アート・フェス公募展表彰式を5月5日開催し、225名が当日訪れ、表彰者は14名であった。

今後の予定として、三木市の花「さつき展」を6月2日から3日にかけて道の駅みき及び山田錦の館で開催する。ワールドマスターズゲームズ2021関西1000日イベントとして、キッズテニス塾及びジュニアテニス塾を6月16日から9月1日にかけてそれぞれ全10回三木山総合公園テニスコートで開催する。みき歴史資料館では、歴史ウォークを5月20日に開催する。また、体験教室「勾玉を作ろう」を5月26日に開催する。堀光美術館では、企画展「三木市美術協会写真・工芸部会展」を5月20日から6月3日にかけて開催する。

(井口委員) 第20回アート・フェス公募展は、全国的にも名前が知れ、堀光美術館のステータスとなっていると思うが、市内の中学校や高校からの出品者はどれくらいいるのか。

(森本文化・スポーツ課長) 毎年、全国規模で募集している。現在集計はできていないが、市内の学生からの出品者は少ない。

(井口委員) 兵庫県内には美術館は少なく、堀光美術館は規模が小さいとしても、全国的に名前が知れている。三木の若者にも、もっとP

Rすべきではないか。

(森本文化・スポーツ課長) 堀光美術館長もその点を懸念し、今年度中に、学校の図工美術部会においてPRすることを考えている。

(井口委員) 本年度から替わられた館長は、市内の小中学生に堀光美術館に足を運んでもらいたいとおっしゃっていると耳にした。大いに推進していただきたい。

(浦崎委員) 体験教室「勾玉を作ろう」は、前回参加者が少なかったと報告を受けたが、今回は見込みがあるのか。

(森本文化・スポーツ課長) 天候や時期により参加者数は変動する。昨年の夏休み期間に実施した際は、23名ほど参加があった。

(浦崎委員) 多くの参加者が見込める時期に開催して欲しい。

(西本教育長) ジュニア陸上について、詳細を説明願う。

(森本文化・スポーツ課長) 陸上競技協会の方に指導いただき、5月11日から7月半ばにかけて全10回開催する。

(石田教育総務部長) 年間を通じると、春と秋に2回、各10回開催している。毎年開催している教室で、人気を博している。

(石井委員) 対象年齢はあるか。

(森本文化・スポーツ課長) 市内の小学3～6年生を対象としている。

(石井委員) 最終的には何かの大会を目指して開催しているのか。

(石田教育総務部長) 大会を目指すものではない。参加される児童の能力は様々であり、指導者は児童に応じたメニューで指導されている。基本的な走り方の指導やマラソン大会等の学校行事に向けて取り組むこともある。

(3) 学校教育課報告事項

○生田学校教育課長が次のように報告した。

第2回定例校園長会を5月8日に開催した。主な議題として、各学校園長に対し、同和教育の実践的取組の充実について周知徹底を依頼した。また、教職員のストレスチェックについて説明した。学校主要行事等として、自由が丘中学校の野外活動が、5月8日から5月10日にかけて兔野高原で実施された。星陽中学校及び吉川中学校の修学旅行が、5月15日から17日にかけて実施されている。また、自由が丘小学校の自然学校が、5月14日から18日にかけて実施されている。

今後の予定として、中学校修学旅行と小学校自然学校を引き続き各日程のとおり実施される。口吉川小学校、豊地小学校及び自由が丘東小学校の3校において、運動会が5月26日に開催される。また、第3回定例校園長会を6月7日に開催する。

(大北委員) 教職員のストレスチェックについて詳細を説明願う。

(生田学校教育課長) 実施主体は兵庫県健康財団である。定期健康診断に合わせてストレスチェック票を提出し、医師による診断を受ける。内容を把握することはないが、本人から希望があれば、カウンセラーに繋ぐ等対応することとなる。

(浦崎委員) 先般、新潟で児童が犠牲となる悲惨な事件があった。市内でも、不審者情報があったが、情報共有など具体的に連携はとれているか。

(生田学校教育課長) 今年度春からの不審者情報は、昨年に比べて非常に多い。校園長会において、不審者情報が入った時の対応について確認を行った。発見者からまず警察へ通報することで、緊急メールが保護者に配信され、周囲にも周知できること、子どもたちの安全が第一であり、登下校の見守りにおいて、教職員の体制を整えて指導していくこと、学校安全指導員や地域の人目の垣根隊と情報交換を行うこととしている。

(浦崎委員) 風水害等が多い季節にもなるため、子どもの安全に十分配慮し、地域とも繋がりを持って、情報共有に努めていただきたい。

(4) 教育センター報告事項

○大東教育センター所長が次のように報告した。

教育センターの事業として、相談業務は記載のとおりである。適応教室は4月末で4名在籍している。今後の予定として、教職員専門研修講座を記載のとおり開催する。

青少年センターの事業として、ネット見守り隊報告会を4月24日に開催した。第1回役員会を4月27日に開催した。また同日に警察主催の第1回大規模合同補導が実施され、青少年補導委員の役員を中心に21名が参加した。今後の予定として、ネット見守り隊報告会を5月21日に開催する。第2回役員会を5月24日に開催する。青少年補導委員会総会及び新任舗装委員研修会を5月26日に開催する。第1回学校・警察・事業者等連絡会を6月19日に開催する。

(石井委員) 5月11日に開催された兵庫県青少年補導センター連絡協議会総会に1名が出席しているが、どなたが出席されたのか。

(大東教育センター所長) 県内の青少年センター所長が集まるもので、当市からも青少年センター所長が出席した。また、同日に兵庫県青少年補導委員連合会総会及び第1回理事会が開催され、青少年補導委員会会長、青少年センター所長が出席した。

(大北委員) 青少年悩みの相談に携わるカウンセラーの配置状況について説明願う。

(大東教育センター所長) 非常勤の2名体制で、常時1名を配置している。思春期の悩みが中心になっており、若い方に携わっていただいている。

(大北委員) 学校において、保護者が相談に来られる場合、内容は様々で、子ども、自身、家族のこと等色々な事情が複合的に入った悩みを抱えておられることも多い。教育センターでは、青少年悩みの相談以外にも、子育て支援課が所管の子育てに関する相談等、相談窓

口が多くあり、保護者に案内する際に迷うことがある。

(大東教育センター所長) 相談の窓口がどこであっても、カウンセラーが1人で抱えて対応することはなく、他部署と連携すべきところはある。

(大北委員) 一般的な相談ではなく、心理の根底からカウンセリングを必要とする方に対しても、対応されているのか。

(大東教育センター所長) 臨床心理士の資格を持った職員が対応している。

(西本教育長) カウンセリングは複数回、1年以上かかるケースもある。実績報告を見ると、同一人が何度も来られていることもあり、市としても、そういったケースも対応している。教育センターでは、福祉関係の相談も行っている。

(石井委員) 学校に相談に来られた際に、教員がどこへ相談を繋ぐべきか判断を迷うことのないよう、教育センターの相談窓口やカウンセラーの専門領域について、情報提供をしてもらいたい。

(西本教育長) 学校には、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを配置している。その点について、担当課から説明願う。

(生田学校教育課長) 教員が窓口となって相談を受けた場合、スクールカウンセラーに繋ぐ。スクールカウンセラーは定期的に学校に入っているため、継続して支援を行うことは可能である。スクールカウンセラーが迷った時は、スクールソーシャルワーカーが学校と他の関係機関との横の連携をとれるような体制を整えている。また、学校教育課にはスーパーカウンセラーも配置しており、関係機関と連携し、適切なところへ繋ぐ体制をとっている。

(西本教育長) 教育センターには相談窓口が多いが、個人情報に配慮しつつも、必要な相談について情報共有を行い、市全体として相談体制を整えている。

(大北委員) 子育て支援課から学校へいただく情報は多く、現場は大変助かっている。個人情報があるとはいえ、連携することでいい方向に向かうことは多いため、青少年悩みの相談においても、できるだけ情報提供いただきたい。

(西本教育長) 個人情報には十分配慮し、連携を図っていく。

(浦崎委員) 4月の教育相談は、182件と多い印象である。不登校、発達相談及び教科指導の内訳を記載して欲しい。

(大北委員) 不登校、発達相談については、教師からと市民の方からの相談があると思う。その内訳も記載して欲しい。

(大東教育センター所長) 4月は教員の異動の時期であり、ICTに関する問い合わせが非常に多かった。ご指摘の点については、次回から記載する。

(5) 教育・保育課報告事項

○正心教育・保育課長が次のように報告した。

第2回三木市保育協会理事会を5月9日に開催した。平成30年度保育協会総会を5月12日に開催した。

今後の予定として、県からの受託事業である「幼小の円滑な接続推進事業に係る実践研究」を三樹幼稚園及び三樹小学校を対象に5月23日に開催する。第3回保育協会理事会を6月7日に開催する。保育者交流研修会を6月19日に開催する。

(西本教育長) 「幼小の円滑な接続推進事業に係る実践研究」について、詳細を説明願う。

(岩崎教育振興部次長) 今年度、県教委から三樹幼稚園及び三樹小学校が幼小連携の指定を受けた。4月から、新しい幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領及び保育所保育指針の全面実施となり、その中で、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」10項目が示され、各就学前教育保育施設において、それを意識した

教育が実施されている。小学校では、生活科において学びの連続性を確保いただいております、幼小の両者間での円滑な接続が図れるよう、1年かけて研究していく。また、県内では協力園として他に3園が指定されている。

(6) 生涯学習課報告事項

○近藤生涯学習課長が次のように報告した。

高齢者大学・大学院の第1回運営委員会を、5月23日に開催する。三木市連合PTA理事総会を、5月28日に開催する。別所ふるさと交流館では、別所ゆめ街道ドリームフェスタを5月13日に開催予定だったが、雨天により中止となった。三木市子ども会育成会連絡協議会の第2回理事会を、5月11日に開催した。また、各公民館では、生涯学習講座、各自治会の行事等について記載のとおり予定している。

(浦崎委員) 各公民館において様々な行事が予定されているが、ポイントを絞って主なものを報告いただきたい。

(近藤生涯学習課長) 生涯学習講座や人権教育の学習が始まっており、それに向けた準備作業も進められていることが特徴である。

(浦崎委員) 今年度から市内5か所の公民館で、校長や市職員のOBが、今までの経験と知識を活かして地域との繋がりを深めていただくべく館長とнаられているが、公民館同士の交流を図るような場はあるのか。

(近藤生涯学習課長) 月に1回、公民館の館長会を開催している。また、公民館職員が一堂に会する会議を開催し、情報共有を図っている。

(浦崎委員) 市として、市内10公民館の館長を段階的に校長や市職員のOBに切り替えていくことが示されているが、具体的に何年かけて計画しているのか。

(西本教育長) 当初から2、3年かけて、嘱託館長に切り替えていく予定をしており、地区によって区長協議会やまちづくり協議会等の組

織があり、地域の実情に応じて、事業の見直しなどを行っていただき、地域力を活かしたまちづくりを行ってもらう方向で進めていく。

(7) 図書館報告事項

○伊藤図書館長が次のように報告した。

こどもの読書週間に合わせ、中央図書館では、DVD上映会を4月22日に開催し、参加者は11名であった。こどもの日おはなし会&こいのぼりぬりえを4月30日に開催し、参加者は31名であった。青山図書館では、こいのぼりのぬりえの配布と掲示を4月22日から5月6日にかけて実施し、配布数124枚、参加者は31名であった。図書館クイズを5月1日から5月15日にかけて開催し、参加者は150名であった。吉川図書館では、人形劇を5月12日に開催し、参加者は25名であった。

今後の予定として、蔵書点検を5月28日から順次、全図書館で行う。中央図書館は5月28日から6月5日、青山図書館は6月13日から6月15日、吉川図書館は6月18日から6月20日にかけて行う。これに合わせて、5月14日から5月27日までの期間、中央図書館のみで貸出冊数と貸出期間を変更し、通常貸出冊数10冊を20冊に、貸出期間2週間を3週間とする。また、あおとフェス（青山図書館開館8周年事業）を6月16日、17日、23日に青山図書館で開催し、リサイクル資料の無料配布、1日限定貸出2倍Day及び雑誌付録の抽選会を行う。みき人形劇リレーが市内外の人形劇グループによって、6月24日から毎月第4日曜日に開催される。

日程第8 次回定例会の開催日程について

教育長が、次回の教育委員会定例会の開催予定日程について諮り、平成30年6月20日、午後3時から開催することを決定した。

閉 会

教育長が、平成30年5月三木市教育委員会定例会の閉会を宣言した。